事務事業コート
 000100
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地区公民館事業
 所属名
 教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

1. 基本情報

位総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
総合計画	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち			事業期間	全期
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			根拠法令、	社会教育法
17 O	施策	1101	根拠法市、根拠計画等				
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10000000000000000000000000000000000000	
目 無策	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数			8,000人	9,000人	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	市民1人あたりの図書貸出冊数			4.72冊	5.1∰	運営方法	外部委託
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				0	0	会計区分	一般会計
予質	予算事業名 地区	マ公民館事	業費(生涯学習・スポー	·ツ課)		予算事業コード	01-09-04-06-07-01

 2. 事業目的 【PLAN】

 対象 (何を、誰を)
 鳥取市に住む子ども

 意図 (どのような状態 にするために)
 ふるさとを大切にし、強い志を持つ子どもに育てる。

 手段 (どうするのか)
 各地区公民館が取り組む生涯学習事業を通じ、子どもたちのボランティア活動・体験活動等の機会を充実、支援することにより、地域で子どもたちを育てる環境整備を図る。

#### 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画		①「子どもと大人のふれあい事業」の中で、 れあい事業」の中で、 子どものボランティア 活動や体験活動等の機 会充実	①「子どもと大人のふ れあい事業」の中で、 子どものボランティア 活動や体験活動等の機 会充実	①「子どもと大人のふ れあい事業」の中で、 子どものボランティア 活動や体験活動等の機 会充実	①「子どもと大人のふ れあい事業」の中で、 子どものボランティア 活動や体験活動等の機 会充実	①「子どもと大人のふ れあい事業」の中で、 子どものボランティア 活動や体験活動等の機 会充実
	年度別実績		①「子どもと大人のふ れあい事業」の実施 ・鳥取地域 510件 25,892人 ・新市域 306件 13,312人	①「子どもと大人のふ れあい事業」の実施 ・鳥取地域 461件 25,814人 ・新市城 278件 13,106人			
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	22,003	21,658	0	0	0
事	直接	経費 A	21,281	20,926	0	0	0
業	直接経	国・県	0	0	0	0	0
費	費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	21,281	20,926	0	0	0
<u> </u>	人作	牛費 B	722	732	0	0	0 00
	員数の	正規職員属託職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00
	内訳	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 負線を投入することで実施した活動の人とで変す指標 【PLAN*DO】										
	指標名		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		「子どもと大人のふれあい事業」の増加参加人数(前年度比)	Į.	目標	500	500	500	500	500	
	1	十段儿)	人	実績	750	-284	0	0	0	
٠,-		<b>指標の説明)</b> 子どもたちのボランティア活動・体験活動等の機会を増やし、世代間の交流を促す。								
活動				目標	0	0	0	0	0	
動指	2			実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
121				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)					•			

5.	平成	成29年度の事務事業実施概要			取り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	業概要と連動)
			【問合せ先】生涯学		3362			
			【10次総の施策体表					
			【予算計上の経過】	予算事業別概要	<b>夏</b> 目次:当初予	<b>算・P279</b>	(教066)	
			【事業の概要】 委託先:鳥取市公」 ・地区公民館62f ・4事業に分類わり の裁量により設	館(内分館1館 けをして事業を		。事業費の配介	分は基本的に名	<b>,</b> 地区公民館
	Ī	事務事業の実施概要	【事業の成果】 (1) 子どもと大人( 事業開催数(延) 参加人数 (延) (2) 特色ある公民(	のふれあい事業 81 38,45	<b>冬</b> 9件	816件	732件	
			事業開催数(延) 参加人数 (延)	47 22, 80	7 0件 0 3人 2 0,			
			(3)地域の仲間作 事業開催数(延) 参加人数					
			(4)人権啓発推進事業開催数(延) 参加人数(延)	事業 20	) 1 件	176件	185件	
			【今後の課題・方向 将来にわたり持続 なる。今後も各地区: させることで、地域	性】 可能な地域づく 公民館において	、 りのためには て、地域の人が	、次代を担うで 集い、学び合い	ひとづくりが重	
6	汗重	動指標の達成率 【CHECK】						
<u>U.</u>	/U =/	別相保の達成率 【CRECK】 指標名	<u> </u>	正式00左左			正古いた広	平成32年度
	-			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	十八32十尺
指揮	1	「子どもと大人のふれあい事業」の増加参		150%		平成30年度	平成31年度	一十成32千尺
標達	2	「子どもと大人のふれあい事業」の増加参				平成30年度	平成31年度	干成32千反
標	2	「子どもと大人のふれあい事業」の増加参				平成30年度	平成31年度	十成32十尺
標達成率	3	「子どもと大人のふれあい事業」の増加参				平成30年度	平成31年度	十灰32千尺
標達成率 7.	2 3	「子どもと大人のふれあい事業」の増加参	加人数(前年度比)		-57%			干队32千尺
標達成率 7.	2 3 評価	T子どもと大人のふれあい事業」の増加参  T 【CHECK】  T項目と評価の視点  E 度計画の進捗度	加人数(前年度比) 評価内容 . 計画を上回る		-57%	平成30年度		十成32十反
標達成率 7. 3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.	2 3 評価年	T子どもと大人のふれあい事業」の増加参  「CHECK」  「項目と評価の視点  「度計画の進捗度  「申度別計画・実績 [PLAN・DO]より 「予定した事業が9月末時点でどのより 以となったか。	か人数(前年度比)  評価内容 . 計画を上回る . 計画どおり . 事業未完了		-57%			十队32十区
標達成率 7. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2 3 評価 年 の で 状	T子どもと大人のふれあい事業」の増加参  T子どもと大人のふれあい事業」の増加参  T子どもと大人のふれあい事業」の増加参  T子どもと大人のふれあい事業」の増加参  T子とした事業価の視点  「東京別計画・実績 [PLAN・DO]より ・予定した事業が3月末時点でどのより ・アランストか。  事業の成果  「京の達成率 [CHECK]より ・・大幅に上回る」、「101%~150%未表   日根とおり」、「190%~100%未満、日根とおり」、「190%~100%未満、日本の記」、「500%未満、日本の記」、「500%未満、日本の記」、「500%未満、日本の記」、「500%未満、日本の記」、「500%未満、日本の記」、「500%未満、日本の記」、「500%ま満、日本の記」、「500%ま満、大幅に上回る」、「500%未満、日本の記」、「500%未満、日本の記」、「500%ま満、1500%ま満、1500%ま満、1500%ま満、1500%ま満、1500%まプロストラックを表し、1500%まプロストラックを表し、1500%まプロストラックを表し、1500%まプロストラックを表し、1500%を表し、15	加人数(前年度比)  評価内容 . 計画を上回る . 計画どおり		-57%			干队32干区
標達成率 7. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2 3 評価年年勝場はあります。 業年度状況 標上は~80%に名~3 ※	面【CHECK】  面頂目と評価の視点  E度計画の進捗度  年度別計画・実績 [PLAN-DO]より  予定した事業が3月末時点でどのよ  況となったか。  事業の成果  帰の達成率 [CHECK]より こ:大幅に上回る」、「101%~150%未 1、「80%~100%未満、1番におり、、 「80%~100%未満、大幅に 最も達成度の低い指標で評価	神人数(前年度比)  評価内容 . 計画を上回る . 計画どおり . 事業未完了 . 目標を大幅に上回る . 目標を上回る . 目標を上回る . 目標を上回る . 目標を上回る		-57%			下队02千尺
標達成率 7. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	2 3 評価年年勝場はあります。 業年度状況 標上は~80%に名~3 ※	面【CHECK】  面頂目と評価の視点  E度計画の進捗度  E度計画の進捗度  E度計画の進捗度  E度別計画・実績「PLAN・DO]より  デを上た事業が3月末時点でどのよ  別となったか。  事業の成果  『の達成率 [CHECK]より こ:大幅に上回る」、「101%~150%未満、大幅に 別が60%+満で回る」、「50%未満、大幅に 別が84歳にか回る」、「50%未満、大幅に 別が84歳にか回る」、「50%未満、大幅に 別が84歳にか回る」、「50%未満、大幅に 別が84歳にか回る」、「50%未満、大幅に 別が84歳にか回る」、「50%未満、大幅に 別が84歳にか回る」、「50%未満、大幅に 別が84歳にから後、150%未満、大幅に 別が84歳にから後、150%未満、大幅に	神人数(前年度比)  評価内容 . 計画を上回る . 計画どおり . 事業未完了 . 目標を大幅に上回る . 目標を上回る . 目標を上回る . 目標を上回る . 目標を下回る . 世標を下回る		-57%		まえて記入)	十灰02十尺
標達成率 7. 3.当該な 1.50に1.50回 6.1満5下	2 3 評価年年勝場はあります。 業年度状況 標上は~80%に名~3 ※	T子どもと大人のふれあい事業」の増加参  T子どもと大人のふれあい事業」の増加参  T子どもと大人のふれあい事業」の増加参  T子どもと大人のふれあい事業」の増加参  T国目と評価の視点  E度計画の進捗度  「中度別計画・実績【PLAN・DO]より 「予定した事業が3月末時点でどのよ  現となったか。  事業の成果  事業の成果  「は80%~100%も末満1号標とおり」、150%未満1下回る」、「50%未満1分割に対し、「50%未満1分割に対し、「50%未満1大幅に「国人の大き、「最も達成度の低い指標で評価」  「日本の成果を踏まえた今後の方  「日本の成果を踏まえた今後の方		150% 1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等	-57% 評価理由(記 に拡充 に自然増加 の改善	平価の視点を踏 □ 4-1 意図 □ 4-2 制度 □ 5-1 臨4	まえて記入) 図的に縮小 度的に自然減少 手実施等、意図	<b>X</b>
標達成率 7. 3.当該な 1.50に1.50回 6.1満5下	2 3 評価年年勝場はあります。 業年度状況 標上は~80%に名~3 ※	T子どもと大人のふれあい事業」の増加参  T子どもと大人のふれあい事業」の増加参  T子どもと大人のふれあい事業」の増加参  T子とした事産の視点  E度計画の進捗度  事業の選択  事業の成果  湯の達成率 [CHECK]より こ 大幅に上回る」、「50%+満:大幅に上回る」、「50%+満:大幅に上回る」、「50%+満:大幅に最多と達成度の低い指標で評価  T の成果を踏まえた今後の方  「1 2 2  今後の方向性  3 1 2 2  「3 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	が 大数 (前年度比)  評価内容 ・計画である ・計画である ・計事業をを上標でしている ・目標を目標でもいる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	150% 150% 1-1 意図 2-1 制度 2-1 列度 2-2 効態 2-2 他事	-57% 評価理由(記 放 放 が が が が が が が が が が が が が が が が が	平価の視点を踏 ロ 4-1 意図 ロ 4-2 制別 ロ 5-1 臨4 ロ 5-2 意図 ロ 5-3 制別	まえて記入) 図的に解析・ 図的に自然減少 軍実的に終了	・

平成29年度 第10次鳥取市総合計画 所属名 教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課 事務事業コード 000200 重点施策 事務事業名 子育て講座事業

1	Ħ	+	桂	恕

	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
総合計画	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち			事業期間	全期
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			根拠法令、	
けの	施策	1101	生涯学習の推進		根拠法市、根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山画寺	
目施 目策	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数			8,000人	9,000人	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	市民1人あたりの図書貸出冊数			4.72冊	5.1冊	運営方法	直営
0,				0	0	会計区分	一般会計
予質	予算事業名 子音	<b>新て講座開</b>	設費			予算事業コード	01-09-04-02-12-01

2 事業日的 【PI AN】

<u> 2. 争未日的</u>	
対象 (何を、誰を)	小学校・幼稚園等の保護者
意図 (どのような状態 にするために)	家庭の教育力の向上を図るため
手段 (どうするのか)	家庭教育に関する学習機会を提供する。

### 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> 3.</u>	3. 事業の年度別計画・美績【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを間深に記入									
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
内容	年度	<b>E別計画</b>	①保護者に対する家庭 教育の重要性を啓発す る機会を整備する	①保護者に対する家庭 教育の重要性を啓発す る機会を整備する	①保護者に対する家庭 教育の重要性を啓発す る機会を整備する	①保護者に対する家庭 教育の重要性を啓発す る機会を整備する	①保護者に対する家庭 教育の重要性を啓発す る機会を整備する			
12	年度	<b>E別実</b> 績	①子育で・親育ち講座 開催数 小学校 44校 幼稚園・保育園 8園	①子育で・親育ち講座 開催数 小学校 44校 幼稚園・保育園 6園						
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)			
	事業領	貴(A+B)	2,969	2,812	0	0	0			
事	直接	経費 A	2,247	2,080	0	0	0			
業	直接経	国∙県	1,494	1,372	0	0	0			
費	豊佞社費の財	地方債	0	0	0	0	0			
	源内訳	その他	0	0	0	0	0			
	L	一般財源	753	708	0	0	0			
_	人们	牛費 B	722	732	0	0	0			
膱	員数の	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00			
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		子育で・親育ち講座開催数	П	目標	50	50	51	52	53
	1				52	50	0	0	0
,_		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1234				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5.	平点	成29年度の事務事業実施	施概要【DO】 【問合せ先】生涯学		取り組みを具体に 3362	的に記入(予算	事務事業の事	業概要と連動)			
					7002						
			【10次総の施策体								
			【予算計上の経過】	予算事業別概要	要目次:当初予	÷算・P275	(教064)				
	:	事務事業の実施概要	【事業の概要】 ・国の補助事業「ごする。(補助率:国 ・市内の小学校・認 調整し開設する。[例 用した子育て親育ち] ・講座内容として 悪の判断など基本的 資質や能力を育成す。	1/3 市2/ 幼稚園等での「 列)新小学1年4 講座、幼児期の は、基本的生活  倫理観、社会的	<ul><li>(3)</li><li>「子育て・親育生 (入学前) の子育て親育ちまる</li><li>「公子育で親育ちまる」</li><li>「公子では、生活能力では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><li>「公子では、</li><l< td=""><td>ち講座」を家り ための子育で 講座] 力、豊かな情! 心や自立心な</td><td>庭教育支援チー に講座、就学時 操、他人への思 ど「生きる力」</td><td>- ムが企画・ 検診等を活 思いやり、善 の基礎的な</td></l<></ul>	ち講座」を家り ための子育で 講座] 力、豊かな情! 心や自立心な	庭教育支援チー に講座、就学時 操、他人への思 ど「生きる力」	- ムが企画・ 検診等を活 思いやり、善 の基礎的な			
			【事業の成果】	【事業の成果】							
			H27年度 幼児 H28年度 幼児 H29年度 幼児	期講座 8回、	小学校入学前	講座 44回					
			【今後の課題・方向は より内容を充実し	たものになるよ				<b>と力を育成す</b>			
			るうえで必要な事項: 保護者同士のつな;					進進する。			
6.	活重	動指標の達成率 【CHE I	ECK】 指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
+5	1	子育で・親育ち講座開催数	相保力	104%		十队30十尺	十八八十八	十队32十尺			
指標	$\vdash$				10		<u> </u>				
達成				<u> </u>			<u> </u>				
率	3					·					
7	≕行	面【CHECK】									
		西項目と評価の視点	評価内容	T	評価理由(評	呼価の視点を踏	まえて記入)				
	年	F度計画の進捗度	<ul><li>□ 1. 計画を上回る</li><li>■ 2. 計画どおり</li></ul>								
3. 事	≟業の≟	年度別計画・実績【PLAN・DO】より	□ 3. 事業未完了								
当該	年度で	予定した事業が3月末時点でどのよ 況となったか。									
		事業の成果	□ 1.目標を大幅に上回る								
		標の達成率【CHECK】より	□ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり								
満:」	L回る」	上:大幅に上回る」、「101%~150%未 」、「80%~100%未満:目標どおり」、 〕の未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る								
		《最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る								
Q	車畫	<b>学の成里を跡すえた会</b> 後	後の方向性 【ACTION】								
<u>.                                    </u>	<u> </u>	をひ以木で四みんに⁻/ は	□ 1. 拡充 □	1-1 意図的		□ 4-1 意					
		今後の方向性		1-2   制度的    2-1   手段等(			度的に自然減少 年実施等、意図				
		7 12 00 / 1 1-3 1 1 1	□ 4. 縮小 □	12-2 効率化	、簡素化	□ 5-2 意	図的に廃止	11. C bb.π-			
L			□ 5. 休止、廃止、終了 □ 今後も基礎的な資質や能力を育成する	12-3 他事業の		□ 5−3 制原 対応での数を力の向		見わどの研機関と演			
(「a わ	今後 <i>0</i> かるよ		携を図りながら、保護者同士のつなが				LEM VCC OIL, )	N'A C V IEIMIN C Æ			

事務事業⊐ート 000300 **重点施策** 該当なし 平成29年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 高齢者生きがい促進総合事業 所属名 教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

4	#	-	ᆄ	土口

位総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち			事業期間	全期
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			根拠法令、	
17 O	施策	1101	生涯学習の推進		根拠法市、根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	T L L L L L L L L L L L L L L L L L L L	
担施	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数			8,000人	9,000人	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	市民1人あたりの図書貸出冊数			4.72冊	5.1冊	運営方法	直営
0,				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 生》	<b>E学習講座</b>	推進事業費			予算事業コード	01-09-04-01-15-01

2. 事業目的【PLAN】

<u> </u>	
対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	市民が学習しようと思ったとき「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、何でも、いつまでも」学習できるような環境をつくるとともに、学習成果を地域に還元できるようにする。
手段 (どうするのか)	社会の動向や生涯各期の学習ニーズに対応した学習機会を充実させる。

### 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

ა.	争表の	年度別計画	·美稹【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを間深に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画 年度別実績		①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業	①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業	①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業	①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業	①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業
			①尚徳大学 講座開催回数 126回 参加者数 6,794人 ②高齢者人材活用 事業回数 6回 延参加者数 583人	①尚徳大学 講座開催回数 126回 参加者数 6,236人 ②高齢者人材活用 事業回数 8回 延参加者数 765人			
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業領	費(A+B)	2,427	7,587	0	0	0
車	直接	経費 A	1,705	6,855	0	0	0
事業	±+±4∇	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	854	0	0	0	0
		一般財源	851	6,855	0	0	0
	人	件費 B	722	732	0	0	0
膱	員数の	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00
	内訳 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		尚徳大学受講者の満足度	%	目標	80	85	90	90	90		
	1		, -	実績	77.4	79.3		0	0		
,_		(指標の説明) 受講者アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした受講者の割合									
活動		高齢者人材活用事業の市民教授登録者数	Į.	目標	0	51	66	81	96		
指	2		人	実績	41	36	0	0	0		
標		(指標の説明) 登録者数を増やすことで、様々な分野における市民の学ぶ機会を増やす。									
1234				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)			•	•					

5.	平原	<sup>艾29年度の事務事業実施概要</sup>	[DO]	※前年度の	取り組みを具体	的に記入(予算	「事務事業の事	( <b>う</b> ら) 業概要と連動)
			【問合せ先】生涯学				7 33 7 214 34 7	
			【10次総の施策体	系】1101				
			【予算計上の経過】 予算事業別概要目	次:当初予算·	P273 (教	(060)		
			【事業の概要】 1 尚徳大学 ・高齢者の社会参え ・地域で活躍するえ 2 高齢者人材活用 優れた知識、技行 るいは助言者とし	舌力ある高齢者 事業 能を有する地域	<b>首層を創出する</b>			
	-	事務事業の実施概要	【事業の成果】 1 尚徳大学 ・開催講座 合同: 社: ・延べ出席者数 2 高齢者人材活用	会・健康・郷 平成 2 6, 8	Dの専門コース 上) 計126 27年度 平 319人 6	回 成28年度	平成29年月	Ę
			・登録者数 36 / ・講演会等延べ参	加者数 平成2	27年度 平 422人		平成29年月 765 <i>月</i>	
			【今後の課題・方向 尚徳大学は、多種 ていく。高齢者人材 く。	- 多様な学習ニ-	-ズや社会情勢 月件数の増加に	に対応した学 <sup>、</sup> つなげるため、	習機会づくりを 、広報の強化を	と今後検討し と検討してい
6.	活重	動指標の達成率【CHECK】						
		指標名 尚徳大学受講者の満足度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指揮	1			97%	93%			
標達成	2	高齢者人材活用事業の市民教授登録者	<b>у</b>		71%			
率	3							

フ 証価【CUECK】

7. 評価【CHECK】		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	<ul><li>□ 1. 計画を上回る</li><li>■ 2. 計画どおり</li></ul>	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	<ul><li>□ 1. 目標を大幅に上回る</li><li>□ 2. 目標を上回る</li></ul>	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	■ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、 「50%~ 80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	│□ 4.目標を下回る │□ 5.目標を大幅に下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	ロ 5. 日保を入幅に下回る	

8.	事業の成果を踏まえた今後の方向性	[ACTION]
----	------------------	----------

	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
			□ 5-3 制度的に終了
	高齢者人材活用事業については、	学習ニーズや社会情勢に対応した学習機会づく 活用機会の増加につなげるため、広報の強化を	
(「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的			
な成果と、今後の改善プランを記載)			

平成29年度 第10次鳥取市総合計画 所属名 教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課 事務事業コード 000400 重点施策 事務事業名 市民大学開設事業

1	其	木	恄	報

位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
総合計画	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ	き、すべてのひとが	事業期間	全期	
づ四	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			根拠法令、	
けの	施策	1101	生涯学習の推進		根拠法市、根拠計画等		
+/-		目標の種	別	平成28年度	平成32年度	中国市级对	
目施 世策	尚徳大学、鳥取市	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数			9,000人	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	市民1人あたりの図書貸出冊数			4.72冊	5.1冊	運営方法	直営
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名					予算事業コード	

<u>2. 事業目的</u>	(PLAN)
対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	市民が学習しようと思ったとき「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、何でも、いつまでも」学習できるような環境をつくるとともに、学習成果を地域に還元できるようにする。
手段 (どうするのか)	社会の動向や生涯各期の学習ニーズに対応した学習機会を充実させる。

### 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画		①市民大学の開催	①市民大学の開催	①市民大学の開催	①市民大学の開催	①市民大学の開催
ļ	年度別実績		①市民大学 講座開催数 30回 延参加者数 693人	①市民大学 講座開催数 30回 延参加者数 886人			
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		費(A+B)	920	732	0	0	0
事	直接	経費 A	198	0	0	0	0
業	直接級	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	198	0	0	0	0
$\vdash$		牛費 B	722	732	0 00	0 00	0.00
	員数の	正規職員嘱託職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00
	内訳	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		尚徳大学受講者の満足度	%	目標	80	85	90	90	0		
	1		, -	実績	77.4	79.3		0	0		
,_		(指標の説明) 受講者アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした受講者の割合									
活動	2	市民大学の延べ参加者数	Į.	目標	0	800	900	1000	0		
指			人	実績	693	886	0	0	0		
標		(指標の説明) 年間の延べ人数									
1730				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)	指標の説明)								

								(うら)	
5.	平月	29年度の事務事業実施			取り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	業概要と連動)	
			【問合せ先】生涯学	習係 0857-20-3	3362				
			【10次総の施策体	系】1101					
			【予算計上の経過】						
			予算事業別概要目	次:当初予算・	P 2 7 3 (教	060)			
			【事業の概要】						
			市民が「いつでも、	、どこでも、た	ごれでも、だれ	とでも、何で	も、いつまでも	」学習でき	
			る環境の整備を目的な学習活動の場として			は勤務する方	を対象とし、「	片民の能動的	
				て生て仅に用品	+ C ( V · Ø )				
			【事業の成果】 ・山陰海岸ジオパ・	一ク謙広	年5回(前期	)			
	-	+24+W ~ ++++	<ul><li>市民健康講座</li></ul>		年5回(前期				
	-	事務事業の実施概要	・国際理解講座 ・社会講座		年5回(前期年6回(後期				
			・鳥取放送文化講 ・郷土の歴史講座	座	年3回(後期	)			
			・郷土の歴史講座	亚战 2-7	年6回(後期 年度 平成		正成90年度		
			参加者数(延)		7人				
			「合体の細題・古向」	₩ <b>. 1</b>					
				【「今後の課題・方向性】 高齢者生きがい促進事業と重複しない内容・時間、または重層的な内容など他の事業と					
			差別化を図りながら、	差別化を図りながら、より効果的事業となるよう実施する。					
6.	活重	指標の達成率【CHE					- b	<del></del>	
-		尚徳大学受講者の満足度	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指	1			97%	93%				
標達	2	市民大学の延べ参加者数			111%				
成					111,0				
率	3								
								-	
7.		『【CHECK】 『項目と評価の視点 ┃	評価内容		延備押出(部	呼価の視点を踏	主えて記 ス )		
			<u>計画内谷</u> □ 1. 計画を上回る		中间进口(計	「脳グズボで質	みん (元)		
	华	度計画の進捗度	■ 2. 計画どおり						
		E度別計画・実績 【PLAN・DO】より 予定した事業が3月末時点でどのよ	□ 3. 事業未完了						
		予定した事業が3月末時点でとのよ 足となったか。							
		事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る						
6 72	- 活4 + L + A		□ 2. 目標を上回る						
Γ150	%以上	{の達成率【CHECK】より :大幅に上回る」、「101%~150%未 、「80%~100%未満:目標どおり」、	■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る						
Γ509	6 <b>~</b> 80	%未満・トロム」 150%未満・大幅に	□ 5. 目標を大幅に下回る						

#### 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】 □ 1-1 意図的に拡充 □ 4-1 意図的に縮小 □ 1. 拡充 ■ 2. 改善継続 □ 1-2 制度的に自然増加 □ 4-2 制度的に自然減少 今後の方向性 □ 5-1 臨年実施等、意図的に休止 □ 3. 現状維持 ■ 2-1 手段等の改善 □ 5-2 意図的に廃止 □ 4. 縮小 □ 2-2 効率化、簡素化 □ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-3 他事業との統合 □ 5-3 制度的に終了 高齢者生きがい促進事業と重複しない内容や時間の設定、または重層的な内容となるよう検討しながら継続実施する。 担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)

 事務事業コート
 000500
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 図書館情報管理システム処理事業
 所属名
 教育委員会事務局
 中央図書館

1	Ħ	*	性	ᇵ	

	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
総合計画	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てがで	で心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち			平成28年度 ~ 全期
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			根拠法令、	
17 O	70 施策 1101 生涯学習の推進					根拠法市、根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山画寺	
目 無策	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		8,000人	9,000人	事業分類区分	ソフト(任意)	
標の	市民1人あたりの図書貸出冊数			4.72冊	5.1冊	運営方法	直営
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				0	0	会計区分	一般会計
予笪	予算事業名 図書	書館情報管	理システム処理費			予算事業コード	01-09-04-09-06-01

#### 2. 事業目的【PLAN】

2. 争耒日的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	図書館3館、コミュニティセンター図書室6室及び市立病院図書室の利用者情報、所蔵資料に関する情報、予約・貸出状況等の管理
意図 (どのような状態 にするために)	図書館利用者情報などを適正に管理することで、市民に迅速、正確、公平な図書館サービスを提供し、利便性・ 効率性・経済性の向上を図る。
	平成24年度に更新した図書館情報管理システムを適正に運用し、利用者情報、所蔵資料情報等の管理を行い、利用者自身がインターネットから本の予約、予約状況の確認、貸出の延長などを行えるようにするとともに、予約した本が正確・迅速に利用者に貸出せるようにする。また、中央図書館においては、本の自動貸出機、自動返却機の運用により、利用者の利便性の向上を図る。

#### 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画 一 年度別実績		①図書館コンピュータ システムの効率的な運 用 ②複数の図書館・室の 一体的管理 ③読書記録の提供	①図書館コンピュータ システムの効率的な運 用 ②複数の図書館・室の 一体的管理 ③読書記録の提供	①図書館コンピュータ システムの効率的な運 用 ②複数の図書館・室の 一体的管理 ③ 読書記録の提供 ④図書館コンピュータ システムの更新(平成 31年2月)	①図書館コンピュータ システムの効率的な運 用 ②複数の図書館・室の 一体的管理 ③読書記録の提供	①図書館コンピュータ システムの効率的な運 用 ②複数の図書館・室の 一体的管理 ③読書記録の提供
			①コンピュータシステムによる効率的運用 ②図書館3館、図書室6 室及び市民病院図書室 の一体的運用管理 ③読書記録の提供	①コンピュータシステムによる効率的運用 ②図書館3館、図書室6 室及び市民病院図書室 の一体的運用管理 ③読書記録の提供 ④貸出冊数の増冊(10 冊⇒15冊に変更)			
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	31,218	29,697	0	0	0
事	直接	経費 A	29,052	27,501	0	0	0
業	直接経	国・県	0	0	0	0	0
費	費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	65	65	0	0	0
	1.4	一般財源 牛費 B	28,987	27,436	0	0	0
$\vdash$	<u>人</u>	T類 B 正規職員	2,166 0.30	2,196 0.30	0.00	0.00	0.00
	員数の	<u> </u>	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	内訳	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

<del>7.</del>	又加	な女人することで夫他した活動の人も	1000	7 1ロ1ホ	[PLAN-DO]				
	指標名		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		セルフ利用率の拡大(中央図書館における自動貸出機・返却機の利用率)	%	目標	45	47	47	47.5	48
	1	(後・区科(成り)利(中)	/0	実績	46	45.3	0	0	0
·		(指標の説明)情報管理システム処理	!件数(1	<b>針出返去</b>	リセルフ利用冊	数/総貸出返却	処理冊数)基準	値は27年度実績	漬
活動		個人貸出冊数	#	目標	890000	891000	875000	876000	877000
動指	2		1111	実績	839356	872287	0	0	0
標		(指標の説明)情報管理システム処理	件数([	図書館31	館、図書室6室、	市立病院で処	理した個人貸出	台の冊数)	
121		インターネット(館内蔵書検索端末を含)による予約の割合	%	目標	66.4	66.5	66.6	66.7	66.8
	3	到'亡'	70	実績	65.1	64.2	0	0	0
		(指標の説明) インターネットによる予	約の件刻	数/総予	約件数(基準値	は27年度実績	)		

					(うら
5. 平成29年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の取り	組みを具体的に記入(	予算事務事業の事	幕業概要と連動
	【問合せ先】中央図書	ोई \$\text{\$\text{\$6}}\$ \$\text{\$0857−27−5182}\$			
	【10次総の施策体系	系】1101			
	【予算計上の経過】な	2L			
	【事業の概要】 図書館3館、コミニ ため、図書館情報管理 ともに、予約・貸出わ	<b>黒システムを運用</b> し			
	【事業の成果】 図書館利用者情報だ ービスを提供し、利信		することで、市民等/ 斉性の向上を図った。		平な図書館サ
事務事業の実施概要	決算額     28       蔵書冊数     64       利用者登録数     6       個人貸出     88       団体貸出     9	0,534冊 2,856人 9,184冊 9,621冊 8,002件	28年度 29,006千円 656,730冊 65,663人 839,356冊 96,017冊 149,521件 370,482人	29年度 27,501千円 665,643冊 67,865人 872,287冊 93,943冊 148,203冊 365,552人	
	【今後の課題・方向性 30年度は、システム ともに、安定的にサー	ムを更新する予定。	これにより一層の利 いく。	利便性の向上、効	率化を図ると

### 6. 活動指標の達成率【CHECK】

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指		セルフ利用率の拡大(中央図書館における自動貸出機・返却機の利用率)	102%	96%			
標達成	2	個人貸出冊数	94%	98%			
率	3	インターネット(館内蔵書検索端末を含)による予約の割合	98%	97%			

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度		利用者、所蔵資料情報を適切に管理し、利用者の利便性の向上と効率的な図書館運営を行った。
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果		個人貸出冊数は、目標値に達しなかったものの、28年度より約4%増加している。これは、貸出冊数を15冊に増冊した効果がうかがえる。
6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、	■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る	
「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

### 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
	30年度は、システムを更新する予	E度バージョンアップを行っており、利用者や ▶定。これにより一層の利便性の向上、効率化	職員にとって利便性が高い。 を図るとともに、安定的にサービス提供をしていく。
(「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的			
な成果と、今後の改善プランを記載)			

 事務事業コート
 000600
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域社会教育活動総合事業
 所属名
 教育委員会事務局
 中央図書館

4	#	-	ᆄ	土口

位総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
総合計画	まちづくりの目標	10	<b>マ心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち</b>			事業期間	平成28年度 ~ 全期
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	とかな心をもった、たくましいひとづくり			図書館法、鳥取市立図書館の
17 O	施策 1101 生涯学習の推進				根拠法令、 根拠計画等	設置及び管理に関する条例	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山画寺	
目施 世策	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数			8,000人	9,000人	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	市民1人あたりの図書貸出冊数			4.72冊	5.1冊	運営方法	直営
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				0	0	会計区分	一般会計
予笪	予算事業名 地地	或社会教育	十会教育活動総合事業費			予算事業コード	01-09-04-09-05-01

2 事業目的【PI AN】

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	子どもから大人までの市民等及び読み聞かせ等のボランティア
意図 (どのような状態 にするために)	市民等が本に親しむ機会を得ることにより、幼い時期から読書の習慣を身につけ、自ら考え、行動するために、必要な知識や情報を得て、自己実現を図るとともに、生涯にわたって心豊かな暮らしを送るため。また、地域文化の発展に寄与するため。
手段 (どうするのか)	子どもの読書活動を推進するため、ブックスタート事業の協力、「おはなし会」等の事業の実施をするとともに、絵本の読み聞かせ等ボランティア養成講座の実施。また、一般向け講座の実施。事業の展開にあたっては、広報媒体を活用して積極的な周知を図る。

### 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>J.</u>	争表の	<u> </u>	美績【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを間深に 本ではなりた方。 まずなりた方。 まずなりた方。 まずなりた方。 まずなりた方。						
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
内容			<ul><li>①おはなし会の実施</li><li>②絵本読み聞かせボランティアの養成</li><li>③ブックスタート事業の支援</li><li>④読書推進活動の実施</li></ul>	①おはなし会の実施 ②絵本読み聞かせボラ ンティアの養成 ③ブックスタート事業 の支援 ④読書推進活動の実施	<ul><li>①おはなし会の実施</li><li>②絵本読み聞かせボランティアの養成</li><li>③ブックスタート事業の支援</li><li>④読書推進活動の実施</li></ul>	<ul><li>①おはなし会の実施</li><li>②絵本読み聞かせボランティアの養成</li><li>③ブックスタート事業の支援</li><li>④読書推進活動の実施</li></ul>	①おはなし会の実施 ②絵本読み聞かせボランティアの養成 ③ブックスタート事業 の支援 ④読書推進活動の実施		
Tr			①おはなし会、親子を対象にした講座の実施 ②読み聞かせボランティア養成講座の実施 ③ブックスタート事業 実施の支援 争音読教室一般向け講座の実施・読書通帳の 配布・まちライブラリーの設置	①おはなし会、親子を 対象にした講座の実施 対象にの対かせポランテ イア養成開かせポランテ イア養成講座の実施 ③ブックスタート事業 実施の支援 ②文字・活子文化の日 講、音読教室の実施、 読書通帳の配布、まち ライブラリーの設置					
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)		
	事業領	費(A+B)	5,361	5,347	0	0	0		
事	直接	経費 A	751	696	0	0	0		
業	直接経	国∙県	0	0	0	0	0		
費	豊佞社費の財	地方債	0	0	0	0	0		
	源内訳	その他	0	0	0	0	0		
	L.,,	一般財源	751	696	0	0	0		
_	人们	牛費 B	4,610	4,651	0	0	0		
職	員数の	正規職員	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00		
	内訳	嘱託職員	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	1	おはなし会、各種講座への参加者数(3館)	Į.	目標	4982	5007	5032	5057	5082	
			八	実績	5433	6097	0	0	0	
٠,-		(指標の説明) おはなし会、読み聞かせボランティア養成講座等への参加者数								
活動	2	受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率	%	目標	65	65.5	50	50	67	
動指		<u></u>	/0	実績	84.2	45.7	0	0	0	
標		(指標の説明)受講修了者(7割以上と	出席者)	のボラン	/ティア活動実施	西率(実施予定?	含む)			
121				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)		•					·	

		(うら)
5. 平成29年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)
	【問合せ先】中央図書 【10次総の施策体系	
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目の	て:当初予算・P 2 5 1 (教 0 7 6)
	<ul><li>2 絵本の読み聞かせ</li><li>3 保健センターが行</li></ul>	期的に「おはなし会」など子ども対象の事業を実施 ボランティア養成講座等を実施 なうブックスタート事業に協力 文字・活字文化の日講演会、音読教室等の実施
事務事業の実施概要	進につながった。 2 ボランティア養成 27年度:1,274千円 6千円【今後の課題・	者数が目標を上回るほど図書館を利用していただき、読書活動の推 講座、講演会等において託児を実施するなど子育て支援を行った。 (読書通帳の作成と活用事業) 28年度: 751千円 29年度: 69 方向性】 子どもの読書活動を一層推進するためには、本が身近に 5人が重要。ボランティア養成は受講しやすく、実践につながるよう

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指	1	おはなし会、各種講座への参加者数(3館)	109%	122%			
標達成	2	受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率	130%	70%			
率	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり	予定していた事業は計画通りに実施することができた。
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	■ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る	図書館事業への参加者数は目標を上回ったが、ボランティア活動実施率は目標に達しなかった。
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 滴:上回る」、「80%~100%未滴:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 下回る」、※最も達成度の低い指標で評価	□ 3. 概ね目標どおり ■ 4. 目標を下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的	]に拡充   □ 4	意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的	」に自然増加 □ 4-2	2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1 手段等	の改善 □ 5-	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化	公、簡素化 □ 5−2	2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業	との統合 □ 5−3	3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	子どもの読書活動を一層推進するるよう、受講しやすく、実践につ			くの方にボランティア養成を受講していただけ
(「今後の方向性」を判断した理由が		よかるよりな工大をする	<b>公安//*の</b> つ。	
わかるよう、数値等を用いた具体的				
な成果と、今後の改善プランを記載)				

 事務事業コート
 000700
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 図書購入事業
 所属名
 教育委員会事務局
 中央図書館

1	其本	害報

位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
総合計画	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てがで	き、すべてのひとが	事業期間	平成28年度 ~ 全期	
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	ましいひとづくり	根拠法令、	図書館法・鳥取市図書館の設置	
17 O	施策	1101	生涯学習の推進		根拠法市、根拠計画等	及び管理に関する条例	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山画寺	
目 担 策	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数			8,000人	9,000人	事業分類区分	ソフト(義務)
標の	市民1人あたりの図書貸出冊数			4.72冊	5.1冊	運営方法	直営
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 図書	書購 入 費				予算事業コード	01-09-04-09-08-01

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	市民の利用に供するための図書館の蔵書
意図 (どのような状態 にするために)	市民等が自らが生涯にわたって学び、自己実現を図るとともに、さまざまな課題についても自ら判断できるよう、さまざまな知識や情報を身近な拠点で容易に入手できるようにする。
手段 (どうするのか)	一般図書・児童図書・参考図書・郷土資料及び新聞・雑誌等の定期刊行物を購入し、整備する。 選書にあたっては、資料収集方針により図書館3館とコミュニティセンター図書室6室でバランスのとれた蔵書 構成を図り、限られた財源を有効に活用する。また、市民のリクエストや現代的な課題に関する資料の充実に努 める。

#### 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画 3 4 年度別実績		①資料収集方針に基づ くバランスの取れた図 書の購入・整備	①資料収集方針に基づ くパランスの取れた図 書の購入・整備	①資料収集方針に基づ くバランスの取れた図 書の購入・整備	①資料収集方針に基づ くバランスの取れた図 書の購入・整備	①資料収集方針に基づ くバランスの取れた図 書の購入・整備
T			①参考図書・郷土資料 及び新聞・雑誌等の定 期刊行物を購入し、整 備した。 18,941冊購入 (内、視聴覚資料119 点)	①参考図書・郷土資料 及び新開、雑誌等の定 期刊行物を購入し、整 備した。 19,267冊購入 (内、視聴覚資料150 点)			
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	41,834	41,610	0	0	0
事	直接	経費 A	36,224	35,968	0	0	0
業	直接経	国・県	0	0	0	0	0
書	豊田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	36,224	35,968	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
	人作	牛費 B	5,610	5,642	0	0	0
融	員数の	正規職員	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00
	<sub>貝数の</sub> 内訳	嘱託職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
	F 70/1	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	1	新規購入図書年間貸出回数	П	目標	9.6	9.7	9.8	9.9	10	
				実績	9.1	10.2	0	0	0	
×		(指標の説明) 新規購入図書貸出回数(年度内新規購入図書貸出累計÷新規購入図書冊数×2)								
活動	2			目標	0	0	0	0	0	
指				実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
1024				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)	指標の説明)							

5. 平成29年度の事務事業実施概要	【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動
	【問合せ先】中央図書館 0857-27-5182
	【10次総の施策体系】1101
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P 2 5 2 (教 0 7 7)
	【事業の概要】 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、資料の収集、整理、保存を行う。 具体的には、社会情勢や市民のニーズをとらえながら、一般書、児童書などの図書、視 聴覚資料、雑誌の購入を行う。
事務事業の実施概要	【事業の成果】 平成27年度:36,170千円 19,362冊購入(雑誌除く) 平成28年度:36,224千円 18,941冊購入(〃) 平成29年度:35,968千円 19,267冊購入(〃)
	【今後の課題・方向性】 1 社会情勢をとらえながら、多様な考え方や新しい情報の資料を整備する。 2 県立図書館や他の自治体の図書と連携を行い、サービスを充実するとともに、資料のデ ジタル化や電子書籍の研究、検討を行う。 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指	1	新規購入図書年間貸出回数	95%	105%			
標達成	2						
成 率	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	利用者のニーズや社会情勢をとらえながら選書を行い、必要な資料の整備を行った。
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	<ul><li>□ 1. 目標を大幅に上回る</li><li>■ 2. 目標を上回る</li></ul>	購入した図書には、棄損などで買い替えをしたものも含まれるため、純粋に 新刊図書の利用数になっていないが、購入した資料の回転数は向上した。
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、 「50%~ 80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5.目標を大幅に下回る	

8. 4	事業の成果を踏まえた今後の方向性	(ACTION)	ı
------	------------------	----------	---

	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が		¢な考え方や新しい情報の資料を整備する。 \$と連携を行い、サービスを充実するととも	もに、資料のデジタル化や電子書籍の研究、検討を行う。
わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)			

 事務事業コート
 000800
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 公民館祭開催事業
 所属名
 企画推進部地域振興局 協働推進課

1	其	木	恄	報

位総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
総合計画	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てがで	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち			昭和57年度 ~ 全期
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			根拠法令、	
17 O	施策	1101	生涯学習の推進		根拠法市、根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山画寺	
目 無策	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		8,000人	9,000人	事業分類区分	ソフト(任意)	
標の	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.72冊	5.1冊	運営方法	その他	
0)				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 公園	民館祭開催	費(協働推進課)		予算事業コード	01-09-04-06-19-01	

2. 事業目的	[PLAN]
対 <b>象</b> (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	市内61地区公民館及び1分館を拠点として活動している市民が、丹精込めて制作した作品の数々や練習を重ねた様々な分野の芸能などについて、1年間の成果を発表する場として開催し、公民館活動の活性化と生き生きとした地域づくりの推進を図る。

鳥取市公民館連合会が主体となって事業の企画実施を行う。

手段 (どうするのか)

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

3.	事業の:	中度別計画	・美績【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを間深に記入							
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
内容	年度別計画 - - 年度別実績		①作品展示会(61地区 公民館で1年間に創作 した作品を展示する。)) ②芸能発表会(61地区 公民館で学習した伝承 芸能、踊り等学習成果 の発表を行う。)	①作品展示会(61地区 公民館で1年間に創作 した作品を展示する。)) ②芸能発表会(61地区 公民館で学習した伝承 芸能、踊り等学習成果 の発表を行う。)	①作品展示会(61地区 公民館で1年間に創作 した作品を展示する。) ) ②芸能発表会(61地区 公民館で学習した伝承 芸能、踊り等学習成果 の発表を行う。)	①作品展示会(61地区公民館で1年間に創作した作品を展示する。))②芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。)	①作品展示会(61地区 公民館で1年間に創作 した作品を展示する。)) ②芸能発表会(61地区 公民館で学習した伝承 芸能、踊り等学習成果 の発表を行う。)			
T T			①作品展示会(参加者数1,169人、出品点数2,208点) (208点) (2)芸能発表会(出演団体数15団体、入場者数465人)	①作品展示会(入場者 数1,373人、出品点数2 ,150点) ②芸能発表会(出演団 体数15団体、入場者数 463人)						
	区分		決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)			
	事業費	貴(A+B)	4,185	4,235	0	0	0			
事	直接	経費 A	575	575	0	0	0			
業	±+±4 <b>∨</b>	国∙県	0	0	0	0	0			
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0			
l^	源内訳	その他	0	0	0	0	0			
		一般財源		575	0	0	0			
	人作	牛費 B	3,610	3,660	0	0	0			
膱	員数の	正規職員	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00			
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
1		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		開催期間中の入場者	Į.	目標	1400	1400	1400	1400	1400		
	1		人	実績	1169	1373	0	0	0		
,-		(指標の説明) 基準値は平成27年度	(指標の説明) 基準値は平成27年度実績								
活動				目標	0	0	0	0	0		
指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
124				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)									

5.	平原	<b>뷫29年度の事務事業実</b>	施概要【DO】 【問合せ先】地区公		取り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	業概要と連動)		
					0-3172					
			【10次総の施策体	系】1101						
			【予算計上の経過】	【予算計上の経過】 当初予算(予算事業別概要なし)						
事務事業の実施概要			【事業の概要】 市内61地区公民館 鳥取市公民館まつり 地区公民館で活動 な分野の芸能を来訪 とともに、出品者の 化と生き生きとした	」を実施。平成 している市民が 者に観賞しても 創作意欲、発表	は29年度で36回 ド丹精込めて制 いらうことで、 受者の練習意欲	目を迎える。 作した作品の 公民館活動に	数々や、練習を ついて理解を終	を重ねた様々 深めてもらう		
			2. 事業内容 • 作品展示会( • 芸能発表会( 〔作品展示会〕平 平 〔芸能発表会)平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平 平	1. 委託先 鳥取市公民館まつり実行委員会(事務局:鳥取市公民館連合会)						
			【今後の課題・方向 公民館を拠点とし る。		⊰が、1年間の	成果を発表す	る場として、勧	存年度実施す		
6.	活重	助指標の達成率 【CHE		1 = = = = = = = =		亚士公东东				
H	T	開催期間中の入場者	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指標				84%	98%					
達成	2									
率										
_	<u>—</u>			L			ı			
7.		西【CHECK】 西項目と評価の視点	評価内容		証価理由(到	呼価の視点を踏	(主えて記え)			
H		<u> </u>	□ 1. 計画を上回る		开脚, 生田 (日	「一回り」元示で呼	みたて記入			
当該	・ 事業の <sup>会</sup> 核年度で	- J文 FI 回 U J J ET J J 文 年度別計画・実績 [PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ 況となったか。	■ 2. 計画どおり□ 3. 事業未完了							
「15 満: 「50	0%以上 上回る」 %~ 80	事業の成果 素の達成率【CHECK】より :: 大幅に上回る」、「101%~150%未 1,「80%~100%未満: 目標どおり」、 1%未満: 下回る」、「509%未満: 大幅に 最も達成度の低い指標で評価	<ul><li>□ 1. 目標を大幅に上回る</li><li>□ 2. 目標を上回る</li><li>■ 3. 概ね目標どおり</li><li>□ 4. 目標を下回る</li><li>□ 5. 目標を大幅に下回る</li></ul>							
8.	事第	<b>業の成果を踏まえた今後</b>	後の方向性【ACTION】	1 1 辛丽也	に忙去		网络巨蛇			
				1-1 意図的 1-2 制度的		<ul><li>□ 4-1 意</li><li>□ 4-2 制</li></ul>	図的に縮小 度的に自然減り	>		
		今後の方向性	□ 4. 縮小 □	2-1 手段等 2-2 効率化 2-3 他事業	、簡素化	□ 5-1 臨 □ 5-2 意 □ 5-3 制		的に休止		
わ	今後( かる。	指課長の評価コメント の方向性」を判断した理由が よう、数値等を用いた具体的 ・全後の改善プランを記載)	公民館を拠点として活動する市民が、	1年間の成果を発表	する場として、毎年度	ま実施する。				

 事務事業コート\*
 000900
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 公民館活動事業
 所属名
 教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

1. 基本情報

1. 42.77	大谷									
位 総	体系区分	コード		名 称			区分			
置合置計	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち			全期			
総合計画	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			根拠法令、				
17 O	施策	1101	生涯学習の推進			根拠法市、 根拠計画等				
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山画寺				
目施 無策	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数			8,000人	9,000人	事業分類区分	ソフト(任意)			
標の	市民1人あたりの図書貸出冊数			4.72冊	5.1∰	運営方法	直営			
٥٫			0	0	会計区分	一般会計				
予算	予算事業名 生活	<b></b> 医学習推進	事業費(生涯学習・スポ	ーツ課)	予算事業コード	01-09-04-01-07-01				

 

 2. 事業目的【PLAN】

 対象 (何を、誰を)
 市民

 意図 (どのような状態 にするために)
 地域に根付いた生涯学習活動を推進するため

 手段 (どうするのか)
 各コミュニティセンターにおいて生涯学習事業を開催する

### 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> </u>	3. 事業の年度別計画・美績【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを						
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画		た各種事業を開催し、 地域に根差した生涯学 習を推進	①各コミュニティセン ターで地域性を活かし た各種事業を開催し、 地域に根差した生涯学 習を推進	た各種事業を開催し、 地域に根差した生涯学	①各コミュニティセン ターで地域性を活かし た各種事業を開催し、 地域に根差した生涯学 習を推進	①各コミュニティセン ターで地域性を活かし た各種事業を開催し、 地域に根差した生涯学 習を推進
į.	年度別実績		<ul><li>①各コミュニティセン ターで、地域性を活か した各種事業を開催</li><li>≪実績≫ 8センター(各支所) 全41事業を実施</li></ul>	<ul><li>①各コミュニティセン ターで、地域性を活か した各種事業を開催</li><li>≪実績≫ 8センター(各支所) 全80事業を実施</li></ul>			
	区分		決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)		3,080	3,192	0	0	0
串	直接経費 A		2,358	2,460	0	0	0
事業	直接経 費の財 源内訳	国∙県	0	0	0	0	0
費		地刀頂	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,358	2,460	0	0	0
	人件費 B		722	732	0	0	0
職	員数の	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
L		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		各コミュニティセンター実施事業参加のべ人数	Į.	目標	18000	18500	19000	19500	20000
	1		八	実績	18013	17175	0	0	0
,_		(指標の説明)							
活動指	2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
12K	3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

						(うら
5. 平成29年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の	取り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	業概要と連動
	【問合せ先】生涯学	習係 0857-20	-3362			
	【10次総の施策体系	系】1101				
	【予算計上の経過】	予算事業別概要	要目次:当初予	算・P273	(教059)	
事務事業の実施概要	【事業の概要】 各コミュニティセンター (旧基幹公民館) で、地域性を活かした各種事業を開催 【国府】高齢者学習活動推進事業 他5事業 【福部】書道教室 他13事業 【河原】みたき大学 他14事業 【用瀬】みすみ大学 他10事業 【佐治】ふるさとの歴史講座 他14事業 【気高】歴史講座 他3事業 【鹿野】鹿野学講座 他4事業 【青谷】高齢者教室 他9事業					
	【事業の成果】 各コミュニティセン 地域づくりに寄与した		全公民館)を拠	点として生涯	学習を推進し、	人づくり、
	【今後の課題・方向 平成28年度から 実施してきた事業にして事務事業の見直 を行う必要がある。	性】 基幹公民館をコ ついて分室主作	選等へ移行して	実施している。	。分室のありた	<b>方検討に関連</b>
·						
6. 活動指標の達成率【CHECK】		平成28年度	平成29年度			
	指標名			平成30年度	平成31年度	平成32年度
各コミュニティセンター実施事業参加のベ				ĺ	1	

っ 証価【CHECK】

指標達成率 2

3

7. 評価【CHECK】		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未	■ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、	□ 4. 目標を下回る	
「50%~ 80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 下回る」 ※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

100%

93%

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	分室のあり方検討を踏まえ、地域	はにおける生涯学習の機会と質を確保した上で、	、他課や地域団体主催事業への移行を検討していく。
(「今後の方向性」を判断した理由が			
わかるよう、数値等を用いた具体的な成果に、今後のおきプランスを記載し			
な成果と、今後の改善プランを記載)			